



夏休み中は、のびのびと過ごせたでしょうか？心に残る思い出はできたでしょうか？  
大学は後期が始まりました。気持ちを切り替えて、大学生活のリズムを取り戻しましょう。

### 「開発途上国の魅力：元手とやる気で人生を切り開く」

経済学科教授 浦野真理子

私は経済学科でアジア経済を担当しています。東南アジアの国インドネシア農村地域の社会経済について研究しているので、インドネシアをよく訪問します。インドネシアの首都ジャカルタは人口約一千万人の大都会で、豪華な商業施設やホテルなど何でもそろっています。一方で、貧しい人口が多い農村地域では、道路、電気、水、通信用電波など生活に必要な設備やサービスが不足しています。そのなかでも特に、銀行や保険など金融サービスの提供はほとんどないことが多いです。銀行がなければお金があっても現金か、貴金属や家畜など物品の形で手元に置くしかありません。遠くで学校へ行く子どもや家族にお金を送るのでも、人に託すことになりとても不便です。投資に必要な資金は貯蓄しづらく、商売の取引で決済をするために遠くの町まで時間をかけて行かなければならず、お金を稼ぐチャンスも限定されています。

私が研究をしているのはインドネシア側ボルネオ島内陸部の僻地で、州政府のある町から車で8時間くらい舗装されていないガタガタ道を行きます。雨季になると車は泥でタイヤがとられて足止めされることも多いです。この地域に銀行はなかったのですが、先日村を歩いていると、農村の小口顧客向けの政府系銀行「インドネシア人民銀行」の垂れ幕と、待っている人たちが目に入りました。この事業所を銀行の代理人として2018年6月に開いたのは村出身の40代後半の女性スロウさんでした。スロウさんはシングルマザーです。当時村には小学校しかなかったので卒業して町へ出て、専門学校で銀行業務を勉強したそうです。その後ジャワ島で結婚して4人の子どもに恵まれたのですが、数年前に夫がデング熱にかかって4日目に亡くなったそうです。そこで、一番下の小学校の娘さんと一緒に故郷に帰り、約80万円の元手で銀行の代理人として事業所を開くことにしたそうです。この村は1999年以来郡政府が置かれているので300世帯くらいに人口が増えています、資源が豊富なこの地域にはアブラヤシ農園や鉱山開発などで外部から人が集まり、金融サービスのニーズが高まっています。この事業所で融資は受けられませんが預金と送金が可能で、ATMも使えます。流通したお金の2%がスロウさんの収益となり、事業所の賃料や人件費を引いても手元にまあまあ利益が残るそうです。銀行側は、支店を出すのがコスト面で難しい僻地で業務を展開することができます。地域の人にとっても、銀行が利用できるのは助かります。スロウさんは元手と教育に恵まれたケースですが、それを生かして頑張っていました。

インドネシアを始めとする開発途上国では様々なものが不足していて、日ごろ生活で何でもそろっている日本人には不便を感じる人が多いです。一方で、不足しているということはニーズとビジネスチャンスがあることでもあります。そして、暮らしている人々は、少しの元手とやる気で自分と家族の人生を切り開いていくバイタリティーに溢れています。若い学生さんたちには、どんどん世界に出て、そんな開発途上国の魅力をぜひ感じてもらいたいです。



## 学生相談室の本棚

学生相談室に学生向けの本が置いてあるのをご存知でしょうか？毎年少しずつですが、新しい本も入れています。心の悩みについての本、大学生活や就職についての本、恋愛についての本、ハーブティの本、旅行の本、小説、コミックなど、色々な分野から学生の方々に興味を持ってもらえそうな本を選んでいきます。

今、季節は秋、読書の秋とも言いますね。学生相談室の本棚を見て、気になった本をじっくり読んでみてはいかがでしょうか？もしかしたら、自分に影響を与えてくれるような本に出会えるかもしれませんよ。

今年度は新しく以下の本が入りました。本は相談室内のフリースペースで読めますし、貸し出しもしているので自宅で読むこともできます。どうぞ気軽に相談室を訪れて手に取ってみてくださいね。

はじめての手作りアロマストーン 石こうと精油で作る香りのオブジェ / ハーブティ辞典 / 大学生活を極める 55 のヒント / いちばんわかりやすいハーブティ大辞典 / おとなの発達障害かもしれない？ / 大学一年生の歩き方 先輩たちが教える転ばぬ先の 12 のステップ / 運命の仕事に出会うための本 / 学生のためのワークルール入門 / 女子学生のキャリアデザイン / 日本の給料&職業図鑑業界別ビジネスマン Special / 脳疲労が消える最高の休息法CDブック / ざんねないきもの事典～どうしてそうなった！？ / 自傷・自殺のことがわかる本 / ネット依存・ゲーム依存がよくわかる本 / 君の隣臓を食べたい / まんがでわかる自律神経の整え方 / 漫画君たちはどう生きるか / 健康で文化的な最低限度の生活(1)～(3) / スティーブ・ジョブズ(6) / 波よ聞いてくれ(4) / 銀の匙(14) / コウノドリ(11)～(15)



### 開室時間のお知らせ

学生相談室は、月～金曜日（9時～17時）に開室しています。

その間はフリースペースも開いていますので、どうぞお気軽にご利用ください。

### 相談室利用の仕方

予約なしで相談できますが、口頭やメール、電話で予約することもできます。相談は予約優先になりますので、ご利用の際はご注意ください。



### 精神科医による相談

本学教授の田辺等先生（精神科医）による心の健康相談を行なっています。精神医学的な立場からアドバイスを受けたい方はご利用ください。

相談希望の方は学生相談室スタッフに声をかけてください。予約優先ですが、当日空きがあれば予約なしでも相談できます。

### ◇ 今後の実施予定 ◇

9月26日、10月10・24日、11月14・28日、  
12月12・20日、1月9、23日

時間：13：00～15：00

※12月20日は10:00～12:00



〒004-8631

札幌市厚別区大谷地西 2-3-1

北星学園大学 北星学園大学短期大学部

学生相談室

直通Tel 011-891-3929

メール [gakuseisoudan@hokusei.ac.jp](mailto:gakuseisoudan@hokusei.ac.jp)

### 相談スタッフ

たざわ よしえ (月・火・水・金 担当)  
田澤 佳江  
あべ みき (月・火・木 担当)  
安部 美紀  
かなざわ たまきこ (金 担当)  
金澤 多希子

※全員、臨床心理士です。

### 編集後記

大学生活の一年も半分が終わりましたね。後半を迎えるにあたり、小さくてもかまわないので何か目標を立ててみてはどうでしょうか？充実した日々になるかもしれませんよ（安）。

